

午 後

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

## 社会調査の基礎

問題 77 社会調査を実施する過程での個人情報の取扱いに関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 社会調査で得られたデータは公表が原則であり，標本調査で得られた氏名，性別，年齢など対象者の属性も，広く公表すべきである。
- 2 社会調査で得られた個人情報は，鍵付きのロッカーに保管したり，電子ファイルの場合には暗号化機能を用いるなどして，第三者の目に触れないようにすべきである。
- 3 社会調査で得られたデータを共同研究者と検討する際には，調査対象者の意向がどうであれ，個人情報を秘匿しなくてもよい。
- 4 事例研究など調査対象者の個人情報を取り扱う場合には，調査対象者の意向がどうであれ，できる限り匿名化すべきである。
- 5 社会調査は公益性が高いので，標本抽出の目的で，選挙人名簿や住民基本台帳から自由に個人情報を得ることができる。

問題 78 尺度を用いた測定の信頼性に関する次の記述のうち，正しいものを一つ選びなさい。

- 1 信頼性が高ければ，測定したい事柄を適切に測定できているとってよい。
- 2 信頼性を検討する手法の一つである折半法とは，調査対象者を半分ずつに分けて，それぞれに同一の測定を行う方法のことである。
- 3 再検査法で信頼性を検討する場合，1回目の検査と2回目の検査の間隔が広ければ広いほど，時間的安定性が高くて望ましい。
- 4 クロンバックの $\alpha$ 係数は，複数の測定項目間に内的整合性があるかどうかを調べるためのものである。
- 5 同一の対象者集団に対して正反対の結果が出ると想定される2つの測定を行い，負の相関の強さを確認する方法のことを，平行検査法という。

問題 79 ピアソンの積率相関係数に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 相関係数がゼロになった場合は、2つの変数の間にはいかなる関係も存在しない。
- 2 それぞれの変数の測定単位（m と cm, 円とドルなど）が変われば、相関係数の絶対値の大きさも変化する。
- 3 変数Xと変数Yに正の相関が、変数Yと変数Zにも正の相関がある場合でも、変数Xと変数Zに相関が存在しないことがありうる。
- 4 2つの変数の間に相関があれば、どちらが原因となる変数でどちらが結果となる変数であるのかを特定できる。
- 5 相関係数が大きな値を示せば、2つの変数の間に必ず直接の関連がある。

問題 80 クロス表による分析に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 行パーセント、列パーセントの数値は、ある行又は列の中だけで比率を計算したものであり、それらの数値を参照する意義は小さい。
- 2 カイ2乗統計量の大きさは、分析対象者数に影響されず、2つの変数の関連の強さだけに依存する。
- 3 カイ2乗統計量は、2つの変数が独立であるとした場合の期待度数からなる表と、実際の観測度数からなる表の間の全体的なズレを表すものである。
- 4 クロス集計表については、2つの変数の関連を示す係数を計算することはできない。
- 5 満年齢や年収実額のような間隔尺度や比率尺度のデータに対しては、クロス集計表を利用することはできない。

問題 81 調査手法としての観察法に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 観察法においては、文字により記録したデータが主たる分析対象となるので、写真や音声などは、分析対象とはならない。
- 2 観察法においては、マジックミラー（ワンウェイミラー）を使った観察を行ってはならない。
- 3 参与観察と非参与観察の適いは、観察に当たって、調査者が観察対象者に具体的な指示を出すか出さないかである。
- 4 観察中にメモをするなどして蓄積されるフィールドノーツは、非参与観察では大いに活用してよいが、参与観察では使用しない方が望ましい。
- 5 参与観察における調査者の立場は、観察に徹する「完全な観察者」と参加を重視する「完全な参加者」との間で行き来することがある。

問題 82 調査手法としての面接法に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 構造化面接では、面接の進行は、調査対象者に任せるのが望ましい。
- 2 非構造化面接では、通常、詳細な質問項目や質問紙をあらかじめ用意しない。
- 3 社会調査で行われる面接は、収集するデータの信頼性からも、1対1で行われるのが望ましい。
- 4 半構造化面接では、通常、回答の選択肢を印刷した回答票を、回答者に提示して調査を進める。
- 5 面接法を用いる際には、調査者と調査対象者との間にラポールが形成されるのは、データの客観性を確保する上から望ましくない。

問題 83 質的データの分析に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 グラウンデッド・セオリー・アプローチでは、データの収集と分析が一体となり、繰り返し実施されるのが、その特徴の一つである。
- 2 K J法を利用して質的データを分類するには、理論的枠組みに基づいてあらかじめ設定された分類軸が必要である。
- 3 ドキュメント分析を行う際、公的機関の統計や文書あるいは新聞・雑誌などのメディア文書は分析の対象となるが、日記や手記などの個人的記録は分析の対象とはならない。
- 4 グラウンデッド・セオリー・アプローチにおける軸足コーディングは、単一の事象に対して、複数のコードをはり付けていくことである。
- 5 K J法は、質的データの分析において、主として仮説の検証を試みる際に活用される。

## 相談援助の基盤と専門職

問題 84 平成 19 年の社会福祉士及び介護福祉士法の改正における社会福祉士の役割への期待に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 社会福祉施設内における入所者及び職員の間関係性を調整できる社会福祉士が求められるようになった。
- 2 関係機関やボランティア等との連携を行い、利用者の自立生活を地域で総合的かつ包括的に支える社会福祉士の役割が期待されるようになった。
- 3 クライアントの心理的な側面に働きかけるケースワークの意義が、再び見直されるようになった。
- 4 地域における介護の担い手として、社会福祉士が期待されるようになった。
- 5 市民やボランティアが、社会福祉士の資格をもつことが期待されるようになった。

問題 85 国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）によるソーシャルワークの定義と解説に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ソーシャルワークの活動は、ソーシャルワーカーの利益の増大と社会的地位の向上を目的として、その活動が動機づけられ、正当化される。
- 2 ソーシャルワーク専門職は、傷つきやすく抑圧されている人々に対して、社会との接触を制限し、社会からの刺激を受けないように保護する。
- 3 ソーシャルワーク専門職は、個人、家族、コミュニティの人々の生活を自らの管理下において、その変革をもたらす。
- 4 ソーシャルワーク実践は、その起源以来、人間の身体的な健康と機能の向上を促進するために、人間の身体能力の開発に焦点を置いてきた。
- 5 ソーシャルワークによる介入の範囲は、個人に焦点を置いた心理社会的プロセスから社会政策、社会計画および社会開発への参画にまで及ぶ。

問題 86 ソーシャルワークの形成過程に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 慈善組織協会は、慈善活動による救済の偏りを防止するために設立され、貧困の原因を社会の構造に求めて、貧困者に対する救済を社会の義務ととらえていた。
- 2 セツルメント運動は、大学生たちが貧困地区に住み込むことによって展開され、貧困からの脱出に向けて、勤勉と節制を重視する道徳主義を理念とした。
- 3 YMCA は、キリスト教の信仰を深める青年運動として始められ、個別面接を繰り返すことによって、心理的な側面を重視した面接技法の体系化を進めた。
- 4 リッチモンド (Richmond, M.) の提案に基づいて、ニューヨークで6週間に及ぶ博愛事業に関する講習会が初めて開催され、専門教育へと発展していった。
- 5 フレックスナー (Flexner, A.) によって「ソーシャルワークはすでに専門職である」と結論づけられ、専門性が社会的に認知されるきっかけとなった。

問題 87 事例を読んで、施設職員がAさんの尊厳に配慮して対応できるよう、B生活相談員（社会福祉士）が行うべきことに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

特別養護老人ホームに入所しているAさん（75歳、女性）は、関節リウマチが進行し、自分で体を動かせる範囲が狭まり、時折痛みを訴えるようになった。最近になって、Aさんから介護職員に対して、「新米のくせに、私の体に触れないで」、「何度言ったら分かるの。いい加減にしてちょうだい」といった感情的な発言が頻繁に見られるようになった。さらに、ナースコールへの対応が少し遅れると、「私より他の人を優先するつもりなのね。もういいわよ」と布団をかぶってしまうこともあった。B生活相談員はケアチームに対してAさんへの対応方針を提案することとした。

- 1 新人の介護職員であっても一定のトレーニングを積んでいることを、Aさんに伝えるようにする。
- 2 職員は、Aさんの関節リウマチの痛みのことには触れないようにする。
- 3 Aさんからの要求に対しては、できないことをはっきりと伝える。
- 4 個室に移ってもらい、他の入所者への介護職員の対応が見えないようにする。
- 5 関節リウマチが進行する現実をAさんが直視できるように、つらさをくみとりながら支えるようにする。

問題 88 アドボカシーに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 利用者が自分の要求を表明できない場合に、援助者がそれを代弁する機能のことである。
- 2 援助者のロイヤリティが所属機関にあることから、その第一の目的は、所属機関を擁護することである。
- 3 援助者個人の関心に基づき、特定の人たちの権利を維持・向上するために、政策や法律の変革を求める働きかけのことである。
- 4 利用者と利害関係のある相手の主張に対し、援助者は利用者が妥協できるように交渉することである。
- 5 援助者の治療的アプローチによって、利用者が無気力であった自己を積極的な自己へと変容させる援助者の活動のことである。

問題 89 「社会福祉士の行動規範」（日本社会福祉士会）に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 援助者と利用者とは専門的な援助関係にあることについての説明は、利用者を緊張させるので行わないようにする。
- 2 専門職サービスの代償として、利用者からの強い要望がある場合には、正規の報酬以外の物品や金銭の受取りも認められる。
- 3 利用者から援助を拒否された場合には、利用者の意思を尊重し、直ちに援助を中止する。
- 4 業務を遂行する上での利用者や家族に関する情報収集は、問題解決の支援に必要な範囲にとどめるようにする。
- 5 利用者の情報に関しては、管理体制とセキュリティ上の問題から、電子媒体による取扱いは行わない。

問題 90 事例を読んで、Dさんに対するE家庭支援専門相談員（社会福祉士）の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

小学1年のC子（7歳，女兒）は，父親の死亡後，母親のDさん（33歳）から身体的虐待とネグレクトを受けていた。5歳のときから児童養護施設で生活している。Dさんはアルコール依存症で入退院を繰り返し，生活が不安定であった。1か月ほど前から，自宅療養中のDさんが「C子を返してくれ」と言い出した。E専門相談員が訪問すると，家の中はごみが散乱し，Dさん自身も食事が十分とれていない状態であった。Dさんは「お酒はやめている。一人暮らしをしているとさみしくて，誰かにそばにいてほしい。子どもと一緒に暮らしたい」と強く訴えた。

- 1 「C子ちゃんの引取りは今後とも無理だと思う」と伝える。
- 2 「引取りの気持ちが強いようなので，C子ちゃんに帰るように話しておきます」と伝える。
- 3 「お母さんのお気持ちはよく分かります。これから話し合っていきましょう」と伝える。
- 4 「C子ちゃんと一緒に暮らすかどうか決めてもらいましょう」と伝える。
- 5 「守秘義務があるので，あなたの要望は居室担当の職員にも話しません」と伝える。



## 相談援助の理論と方法

問題 91 サリービー (Saleebey, D.) の唱えるストレングス視点に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 問題解決を行うためのストレングスは、個人や家族のみならず、地域の中にも見いだすことができる。
- 2 クライエントの希望やビジョンには、ストレングスを見いだすことができない。
- 3 逆境や困難な体験における苦しみは、ストレングスの形成を妨げる。
- 4 ストレングスを高めることと、クライエントの目に見えない潜在力の強化とは相反するものである。
- 5 クライエントのストレングスの見極めは、ソーシャルワーカーの客観的判断に基づくものである。

問題 92 ソーシャルワークのアプローチと焦点を当てるべき事象の組み合わせに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 心理社会的アプローチにおいては、急性の感情的な混乱状態にある利用者の対処能力の強化、社会的機能の回復に焦点を当てる。
- 2 問題解決アプローチにおいては、利用者自らがもっている具体的な解決イメージを重視し、問題が解決した状態を短期間で実現することに焦点を当てる。
- 3 課題中心アプローチにおいては、利用者のニーズを機関の機能との関係で明確化し、その機能を個別化して提供することに焦点を当てる。
- 4 機能的アプローチにおいては、利用者が他者とのつながりを形成し、疎外状態から解放されることに焦点を当てる。
- 5 エンパワメントアプローチにおいては、利用者が自らの置かれている否定的な抑圧状況を認識し、自らの能力に気付き、その能力を高め、問題に対処することに焦点を当てる。

問題 93 事例を読んで、母親の発言へのA家庭相談員（社会福祉士）の応答に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

W家庭児童相談室に、2歳の子どもを連れた母親（30歳）が来所した。A家庭相談員は、子どもを別室で遊ばせながら、母親とのインテーク面接を開始した。母親はいすに座ったとたん、<sup>せき</sup>堰を切ったように、「子どもが言うことを聞かないと、思わず<sup>たた</sup>叩いてしまうのです。我慢しようと思ってもできなくて、もうどうしたらいいのか分からなくて…」と話した。

- 1 お母さんの子どもの頃の話をお聞かせいただけませんか。親から叩かれることがあったのですね。
- 2 お子さんへの行為は虐待に当たりますね。すぐにやめた方がいいと思いますよ。
- 3 失礼ですが、ご夫婦の関係はいかがでしょう。夫婦の関係は子育てに影響すると思います。
- 4 子育てのことで悩んでおられるのですね。気持ちを抑えきれずに、お子さんを叩いてしまうのですね。
- 5 お子さんがかわいそうですね。親として、子どもの気持ちを分かってあげられるように努力しましょう。

問題 94 事例を読んで、初回面接後の障害者相談支援事業に携わるB相談員（社会福祉士）の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

軽度の知的障害のあるCさん（20歳）は高等学校卒業後、どこにも行かずに、自宅で両親と生活していた。「仕事してみたいのですが…」とB相談員のところに母親と一緒に訪れた。Cさんは就労への強い希望を見せたが、一方の母親は「無理に仕事をするより、穏やかに暮らしてほしい」と話した。

- 1 日常生活面で自立できないと仕事は見つからないと判断し、そのことをCさんに伝える。
- 2 客観的情報を得るため、Cさんが職業能力の評価を受けてみることを勧める。
- 3 Cさんの希望を尊重し、B相談員から母親を説得する。
- 4 Cさんと母親の意向を一致させてから、改めて来所するよう伝える。
- 5 母親の気持ちを大切に、就労をあきらめるようCさんを促す。

問題 95 相談援助の過程の段階に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 インテーク段階は、クライアントの主訴を傾聴するところから始まる。
- 2 アセスメント段階では、クライアント自身が述べた情報より、家族や関係者から得た情報が優先される。
- 3 プランニング段階では、サービス利用状況のモニタリングを実施する。
- 4 援助の実施段階では、クライアントとの間に信頼関係を形成することが、主な取り組み課題となる。
- 5 アフターケア段階では、プランニングで設定した計画の進捗状況について継続的に把握し、新たなアセスメントにつなげることが目的となる。

問題 96 事例を読んで、母子生活支援施設の母子指導員（社会福祉士）の発言に関する次の記述のうち、自立支援計画作成のための初回面接における最初の発言として、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

Dさん（22歳）は、毎日のように繰り返される夫の暴力に疲れ果て、逃げ出す気力もなかったが、友人から婦人相談所のことを聞き、夫の留守に子ども（2歳）を連れ、身の回りの物だけを持って緊急一時保護を受けた。その後福祉事務所へ相談に行き、母子生活支援施設に入所することになった。入所初日に、母子指導員が面接を行った。面接室に入ってきたDさんは不安な様子で、言葉少なげだった。

- 1 とてもつらそうですね。でも、つらいのはあなただけではありませんよ。
- 2 不安なのは分かりますが、子どもさんのために頑張らないといけませんね。
- 3 施設に入られるのですから、どうか私たちにお任せください。
- 4 お気持ちや今後の生活などについて話し合っていきましょう。
- 5 まず、あなたが受けていた暴力の内容について具体的に詳しくお話してください。

問題 97 相談援助過程のプランニングに関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 プランニングは、アセスメントと援助の実施とをつなぐ作業である。
- 2 プランニングでは、最も理想的な対策を立てることが求められる。
- 3 プランニングでは、利用者への援助の即効性ではなく、長期目標の達成を目指す。
- 4 プランニングでは、利用者が問題を抱えて動揺している場合、援助計画にクライアントを関与させない。
- 5 プランニングでは、利用者の要望に積極的に応えるような計画を立てる。

問題 98 相談支援事業所のE相談支援専門員（社会福祉士）は、半年前から知的障害のあるFさん（27歳，男性）の支援を担当してきた。Fさんは就労を目標に，生活リズムの構築や円滑なコミュニケーション技術の獲得に取り組み，1か月前に印刷会社に入社した。その後1か月経ったので，E専門員は，Fさんの職場への適応状況を確認するために職場訪問をした。

次のうち，この段階でのE専門員による援助の過程を表すものとして，適切なものを一つ選びなさい。

- 1 インテーク
- 2 アセスメント
- 3 プランニング
- 4 モニタリング
- 5 エバリュエーション

問題 99 大企業の企業内ソーシャルワーカーであるG相談員（社会福祉士）のもとに，うつ状態となったHさんが来室した。G相談員は，主治医と連携してHさんの生活状態の改善を目指した援助を始めることとなった。そして，援助の効果を判断するために，標準化されたスケールを用いて，援助開始前と援助中の効果を定期的に測定することにした。

次のうち，この場合の効果測定の方法を表すものとして，適切なものを一つ選びなさい。

- 1 断面的（cross-sectional）事例研究法
- 2 グランプリ調査法
- 3 メタ・アナリシス法
- 4 単一事例実験計画法
- 5 集団比較実験計画法

問題 100 ソーシャルワークのクライアントと援助者との関係に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 リッチモンド (Richmond, M.) は、慈善組織協会の友愛訪問について、当初から職業的な関係を理想とした。
- 2 ホリス (Hollis, F.) は、援助者に対して、転移や逆転移にとらわれることなく、クライアントの態度や応答を理解する関係の構築を求めた。
- 3 ハートマン (Hartman, A.) は、ソーシャルワーカーがクライアントとパートナーシップを保つ関係が、クライアントのエンパワメントにつながるとした。
- 4 ジャーメイン (Germain, C.) らによるライフモデルでは、詳細なアセスメントによってクライアントを客観的に把握する、一方向的な関係を目指している。
- 5 サリービー (Saleebey, D.) によるストレングスモデルでは、クライアントに欠けているストレングスを援助者が提供することを通じて、信頼関係を築こうとする。

問題 101 ソーシャルワークにおける援助関係に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 パターナリズムとは、援助者の権威的な立場を否定し、対等な立場を重視した援助関係のあり方のことである。
- 2 援助関係におけるラポールとは、クライアントが自己決定できる権利のことである。
- 3 援助関係における純粋性とは、援助者のクライアントに対する温かさや親しさのことである。
- 4 援助関係における目的志向性とは、意図的にクライアントを導くことにより、援助者の自己覚知を促進することである。
- 5 援助関係における受容とは、援助者がクライアントをありのままに認め、信頼し、その感情を尊重することである。

問題 102 J相談員（55歳，男性，社会福祉士）はKさん（23歳，女性）の相談にのり，週1回の面接を始めて，約2か月が経過した。ここ2，3回の面接では，Kさんはようやく父親との子ども時代の思い出について語り始め，「父親には愛されていなかったと思う」といった。J相談員は，Kさんの気持ちを理解しようと傾聴することに努めた。J相談員はKさんとの距離が少し近づいたように感じた。

今回来所したKさんに，J相談員がにっこりと会釈すると，彼女はこれまでの親しげな対応ではなく，「あなたもやはり父と一緒に，やさしくすれば私が喜ぶとも思われるのですか」，「信頼していたのに，もうあなたを信じられません」といってうつむいた。

次のうち，J相談員に対するKさんの言動を説明するものとして，最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 感情過多
- 2 感情移入
- 3 感情転移
- 4 選好感情
- 5 感情失禁

問題 103 事例を読んで，特別養護老人ホームで働くL生活相談員（社会福祉士）による利用者Mさんへの対応に関する次の記述のうち，最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

ある日の夕食時，一週間前に入所したばかりのMさんが，「こんな食事には，もう耐えられない」といって，食事への不満を訴えた。その場にいた介護職員がいくら勧めても，Mさんは食べようとしなかった。どうも食事のことだけではなさそうだと感じたL生活相談員は，すぐに担当の介護職員とともに，Mさんと個別面談の機会を持った。その席でMさんは，「本当は施設になんか来たくなかった。家族と一緒に暮らしたかった」と話した。

- 1 食事がおいしくないことをMさんにわび，我慢してほしいと頼む。
- 2 食事への不満を解消するために，Mさんの好物や希望する食事の内容を教えてもらう。
- 3 施設に早く慣れるために，Mさんには過去のことよりこれから先のことを考えてもらう。
- 4 すぐにMさんの家族に来所してもらい，今後についてMさんと話し合ってもらう。
- 5 施設での生活に対する気持ちや家族への思いを，Mさんに率直に話してもらう。

問題 104 婦人相談所の配偶者暴力相談支援センターに、夫の暴力の相談で来所したNさん（31歳、女性）が、「私は一体これからどうしたらいいのでしょうか。小さい子どもを抱えて別れることもできず、ただこの状況に耐え続けるしかないのでしょうか」といって沈黙した。それに対して、相談員（社会福祉士）は「今は八方ふさがりの状態で、とてもおつらいのですね」と応じた。

次のうち、この相談面接の技法を表すものとして、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 直視
- 2 要約
- 3 感情の反映
- 4 助言・提案
- 5 自己開示

問題 105 事例を読んで、解決志向アプローチに基づくP相談員（社会福祉士）の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

P相談員は総合病院の医療相談室で働いている。Qさん（40歳代、男性）は難病で入院3か月目を迎えても退院のめどが立たず、うつ状態にある。P相談員がQさんと5回目の面接に臨んだところ、Qさんは「夜は、なかなか眠れません。このまま職を失って、家族を路頭に迷わせるのではないかと考えたり、職場のみんなにも負担をかけるばかりで…。いっそ死んでしまったほうが楽になるのかもしれない。そのほうが誰にも迷惑をかけないような気がして」と消え入りそうな声で言葉をつないだ。

- 1 問題があまりにも深刻なため、安易にコメントをせずになぜかを繰り返した。
- 2 Qさんの気持ちが言葉に込められているので、その一つ一つを丁寧に復唱することにとどめた。
- 3 Qさんの気持ちが少しでも前向きになるよう、「もうすぐよくなるから大丈夫ですよ」と明るく声かけをした。
- 4 死にたくなるつらさを受け止め、「Qさんがこれまでやってこれたのはなぜでしょうか」と問いかけた。
- 5 「家族を支えられるのはQさんだけなので、何とか頑張りましょう」と励ました。

問題 106 相談援助技術の一つとしてのケアマネジメントに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ケアマネジメントは、アウトリーチによるものではなく、クライアント自らが相談にくることから始められる。
- 2 ケアマネジメントは、一つの社会資源で対応可能なニーズを抱えるクライアントに効果的である。
- 3 ケアマネジメントでは、社会資源の活用が必要であるが、これには、クライアント本人の家族などは含まれない。
- 4 ケアマネジメントでは、様々な社会資源を選択的に活用して計画を立てる。
- 5 ケアマネジメントでは、慎重に立てられた計画に基づき、利用するサービスを多くの専門家が連携して決定するので、計画の見直しはほとんど行われない。

問題 107 ソーシャルサポート・ネットワーク・アプローチに関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 社会における自然発生的ネットワークに対して関与しない。
- 2 社会資源間のネットワークのコーディネーションは実施しない。
- 3 インフォーマル及びフォーマルな社会資源を有機的につなぎ、ネットワークを形成する。
- 4 クライアントを取り巻く環境のうち、ニーズの心理的アセスメントに焦点を当てる。
- 5 クライアント個人が持つ既存のソーシャルネットワークには期待せず、短期的にサポートネットワークを形成する。

問題 108 事例を読んで、グループワークの場面でのR児童指導員（社会福祉士）の発言に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

X児童養護施設では、入所している高校生7人を対象として、「親との関係を考える」というテーマでグループワークを実施している。月に1回の頻度（全6回）で開催し、R児童指導員が担当している。2回目のセッションにおいて、S君が、「みんなの話を聞いていると、親といい関係を保ちたいとか取り戻したいみたいな発言が多いけど、僕は親のことは嫌いだし、顔も見たくないんだよ」と発言した。

- 1 みんなの意見とは少し違うので、今は黙っていてくれないかな。
- 2 でもご両親はS君のこと、嫌いではないと思うよ。
- 3 へえ、何があったの？僕に聞かせてよ。
- 4 誰かS君が前向きになれるような言葉をかけてあげてよ。
- 5 そうなんだね。ここで、もう少し話してくれないかな。



問題 109 グループワークにおけるメンバー間の葛藤<sup>かつとう</sup>への援助者の対応に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 グループの健全な成長に向けて、メンバー同士の衝突を避け、葛藤を取り上げないようにする。
- 2 葛藤が生じた場合、グループ全体にかかわる課題にではなく、メンバー個々の言動に関してコメントするように促す。
- 3 強く意見を主張するメンバーにリーダーシップをとらせる。
- 4 葛藤の背後には、他者を理解しようとするエネルギーが隠れており、それを引き出してグループが成長する手助けをする。
- 5 解決策を見いだすためには、グループ全体の意思決定を優先させ、メンバー個人の心配事やニーズの表出を控えさせる。

問題 110 事例を読んで、相談援助におけるコンサルテーションの機能に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

医療機関に入職して2年目のT医療相談室員（社会福祉士）は、治療について、患者と家族の意向が食い違う事例を担当していたが、板挟みの状態に陥って打開策が得られなくなった。T相談室員は、相談室長からこの事例についてコンサルテーションを受けるよう勧められた。

- 1 コンサルタントは、自分でこの患者に面接して、分析したいと提案した。
- 2 コンサルタントは、自分の助言に従い実行するようにT相談室員に指示した。
- 3 コンサルタントは、T相談室員の担当ケースについて責任をもつと約束した。
- 4 コンサルタントは、相談室員同士で事例を検討するための時間を定期的に確保するように相談室に提案した。
- 5 コンサルタントは、テーマと目標を自力で設定するようにT相談室員に命じた。

問題 111 病院のUソーシャルワーカー（社会福祉士）は、事故により車いすが必要となったVさん（50 歳代，男性）との間で，信頼関係が形成できずにいたため，スーパービジョンを受けることとし，以下の記録（一部抜粋）を作成した。

○月×日 Vさんの部屋に入ったが，ベッドに横たわるVさんは，固く目を閉じたままであった。「おはようございます」と声をかけたときには，一瞬表情が動いたようにも見えたが，返事はなかった。付き添っていた妻が「Uさんがお見えですよ」と声をかけたが，やはり反応はなかった。少し待った後，妻に「最近の具合はいかがですか」と尋ねた。「私とは少しずつ話すようになってきたんですけどね」とうつむき加減に答えた。（後略）

次のうち，この記録の文体を表すものとして，適切なものを一つ選びなさい。

- 1 この記録は，クライアントの言動を逐語的に記したものである。
- 2 この記録は，クライアントの言葉を箇条書きにしている。
- 3 この記録は，クライアントの言動などが時間経過にそって記述されている。
- 4 この記録は，クライアントの言動のうち主な項目を要約している。
- 5 この記録は，クライアントの言動についてUソーシャルワーカーの解釈を加えている。

## 福祉サービスの組織と経営

問題 112 特定非営利活動法人と社会福祉法人に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 特定非営利活動法人は、行政への届出の手続だけで設立できる。
- 2 社会福祉法人と特定非営利活動法人は、原則として、実施する事業のために必要な資産を自ら所有することが、法人設立の条件となっている。
- 3 特定非営利活動法人における「理事会」と社会福祉法人の「理事会」は、業務の決定に関して、同じ役割をもっている。
- 4 社会福祉法人は、介護サービス事業を実施する上で、特定非営利活動法人に比べ、法人税の取扱いが優遇されている。
- 5 社会福祉法人は、社会福祉事業以外の事業を実施することについて、特に制限は設けられていない。

問題 113 組織理論に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ヴェーバー (Weber, M.) が挙げた官僚制に特有な機能様式は、官庁組織に関するものである。
- 2 テイラー (Taylor, F. W.) が挙げた管理の第一の目標は、従業員一人一人の賃金を一律に低く抑えることである。
- 3 メイヨー (Mayo, G. E.) やレスリスバーガー (Roethlisberger, F. J.) は、各作業者の態度は賃金などの作業条件に依存していると主張した。
- 4 バーナード (Barnard, C.) は、組織成立の要件を、相互に意思を伝達できる人々がお互い、それらの人々が行為を貢献しようとする意欲をもって、共通目的の達成を目指すとき、としている。
- 5 サイモン (Simon, H. A.) は、一人の孤立した個人は、極めて合理性の程度の高い行動をとることが可能であると主張した。

問題 114 リーダーシップに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 三隅二不二によれば、リーダーシップM行動は、集団の目標達成に志向したリーダーシップ行動である。
- 2 三隅二不二によれば、リーダーシップP行動は、集団や組織の中で生じた人間関係の緊張を解消するリーダーシップ行動である。
- 3 三隅二不二のリーダーシップPM論によれば、一つのリーダーシップの行動には、その程度の相違はあっても、PとMが同時に含まれている。
- 4 フィードラー（Fiedler, F. E.）によれば、有効なリーダーシップのスタイルは、達成すべき課題の構造や、リーダーとメンバーの関係には影響されないことが望ましい。
- 5 ヴェーバー（Weber, M.）によれば、すべてのリーダーシップにはカリスマ性が必要である。

問題 115 福祉サービス提供組織における人材養成と確保に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 OJT（On-the-Job Training）とは、教育訓練の方法の一つであり、職場を離れて行う職務教育訓練方法のことである。
- 2 OFF-JT（Off-the-Job Training）とは、教育訓練の方法の一つであり、作業遂行の過程で中断・再開して行う訓練方法のことである。
- 3 教育訓練の方法の一つである自己啓発は、職場における上司などの直接の指導を受けながら行う能力開発の方法である。
- 4 人事考課における考課者の判断は、客観的な評価要素を定めて明確な定義づけを行っていれば、ハロー効果（halo effect）や寛大化の誤差（leniency error）などの影響を受けない。
- 5 ジョブ・ローテーション（job-rotation）の目的の一つは、同じ仕事に長く従事することによって生じるマンネリズムを防止することである。

問題 116 福祉サービス提供組織における人材の確保と育成、労務管理に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「新人材確保指針」は、福祉・介護サービス分野に従事する人材の確保のために、労働環境の整備の促進、キャリアアップの仕組みの構築、潜在的な有資格者等の参入の促進等の方策を示したものである。
- 2 就業規則を作成することが義務づけられている事業所においては、就業規則の作成又は変更に当たっては、労働者の過半数を代表する者の同意を得ることが法律上の要件とされている。
- 3 通常の労働者と同視すべき短時間労働者については、教育訓練や福利厚生を通常の労働者と同じにする必要はない。
- 4 個人のキャリアとは、専門性の向上や専門資格の取得を指すものではなく、例えば定年まで勤務し、その中で役職が昇進していくという組織内ポストの上昇を指すものである。
- 5 軽度かつ短時間の作業に当たる宿直業務について、労働基準監督署長の許可を受けていなくとも、通常の勤務時間と同様の実労働時間に組み入れなくてよい。

(注) 「新人材確保指針」とは、「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」(平成 19 年厚生労働省告示第 289 号) のことである。

問題 117 サービス・マネジメントに関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ドナベディアン (Donabedian, A.) によれば、ヘルスケアの質は「結果」(outcome) で評価されるものである。
- 2 サービスの消費者が知覚するサービスの質は、何が提供されたのかではなく、どのようにして提供されたのかによって評価される。
- 3 デミング (Deming, W. E.) が提唱した統計的品質管理手法は、製造業の品質管理に使われるものであり、サービスの品質管理に使うことはできないとされる。
- 4 サービスの従事者に対して、自主性と判断の自由度を与えることは、優れたサービスを提供することにつながるとされる。
- 5 サービス・デリバリー・システムという考え方によれば、サービスの水準はサービス従事者とサービスの消費者との二者間の関係によって決まる。

問題 118 福祉サービスの適切なサービス提供体制の確保の方法と実際に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 福祉サービスにおけるサービス・マネジメントとは、ケアマネジメントやケースマネジメントの方法を示したものである。
- 2 社会福祉法に規定する運営適正化委員会は都道府県社会福祉協議会に設置され、福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保とともに、福祉サービスの利用者からの苦情に適切に対応するために設けられている。
- 3 「福祉サービス第三者評価事業」は、福祉サービスの質の向上のために、社会福祉法に規定された措置として社会福祉事業の経営者にその受審が義務づけられている。
- 4 福祉サービスにおける危機管理（リスクマネジメント）とは、発生した事故による利用者への損害賠償に対処するためのものである。
- 5 福祉サービスの事業者にも ISO9001 の審査を受ける団体が出てきているが、この ISO9001 とは、サービスを提供した結果について審査認定するものである。

## 高齢者に対する支援と介護保険制度

問題 119 第二次世界大戦後の我が国の高齢者保健医療福祉制度の発展過程に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 経済的に困窮した高齢者を対象とする入所施設として、「旧生活保護法」では保護施設、「新生活保護法」では養護老人ホームが設けられた。
- 2 特別養護老人ホームは、高齢者への経済的援助と介護を行う施設として、老人福祉法（昭和 38 年）に規定された。
- 3 デイサービス、ショートステイサービス等は、福祉関係八法改正（平成 2 年）によって、それまでの措置事業から契約対象の事業に位置づけられた。
- 4 老人医療費の無料化は、国の制度としては老人福祉法の改正（昭和 48 年）により行われたが、老人保健法の制定（昭和 57 年）により一部自己負担が導入された。
- 5 「ゴールドプラン 21」は、介護保険制度が始まった 2000（平成 12）年度から 10 か年計画でスタートし、サービス基盤の整備目標や今後の方向性を明らかにした。

- (注) 1 「旧生活保護法」とは、1946（昭和 21）年に制定された生活保護法のことである。
- 2 「新生活保護法」とは、1950（昭和 25）年に制定された生活保護法のことである。

問題 120 事例を読んで、訪問介護員が行う A さんへのこれからの介護に関する次の記述のうち、訪問介護計画に盛り込むべき内容として、優先順位の最も高いものを一つ選びなさい。

〔事例〕

A さん（88 歳、男性）は寝たきり状態で、自分で寝返りができない。84 歳の妻が日中、食事の世話やおむつを換えたりしているが、夜間は一度も換えず、入浴もしていない。身長 165cm、体重 42kg で手足は細くやせている。

老老介護の状態を知った近所の住民が市役所に連絡し、介護保険制度を利用することになり、介護支援専門員による居宅サービス計画が作成された。訪問介護が開始されてから 1 か月後、訪問介護員が仙骨部に褥瘡の初期段階と見られる発赤があるのを発見した。

- 1 家事負担の軽減として部屋の掃除を増やす。
- 2 体位変換の回数を増やし、妻の協力も依頼する。
- 3 妻に料理のメニューを紹介する。
- 4 日中はおむつを厚く重ね、交換回数を減らす。
- 5 このまま様子を見る。

問題 121 認知症と認知症ケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 認知症の症状は、大きく中核症状と周辺症状に分けられ、出現する記憶障害、徘徊、妄想は中核症状であり、認知症の診断やその進行を判断する際の目安になる。
- 2 暴言・暴力、過食・異食などの周辺症状は、認知症の進行に伴って出現回数が増加することが特徴であり、ケア環境による影響は見られない。
- 3 認知症の高齢者本人に働きかける方法の一つとして、過去の思い出に働きかけて心理的な安定や意欲の向上を図ろうとする回想法がある。
- 4 介護施設における居室環境は、生活単位をできるだけ大規模化し、高齢者が空間を把握し易くしたほうがよい。
- 5 同居の近親者が認知症と診断され、不安を訴える家族に対しては、直ちに現実と向かい合い、介護技術を習得するよう指導する。

問題 122 歩行に介助の必要な高齢者の住環境に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 滑りやすい床面に、摩擦が大きなじゅうたんやマットを、その一部に敷くようにする。
- 2 廊下に手すりを取り付ける場合、平たい形状のものにし、高齢者の肩の高さに設置すると姿勢よく歩きやすい。
- 3 冬季においては、移動時には厚めの衣類を着用するので、居室と廊下、トイレ等の温度差に注意する必要はない。
- 4 寝室が2階で1階に浴室や居間がある場合、廃用性萎縮を防ぐため、階段を一人で昇降するよう勧める。
- 5 加齢により色覚が変化するため、日常生活空間では、青・緑より視覚的に見やすい赤・黄といった系統の色を使用するとよい。



問題 123 事例を読んで、Bさんの介護保険サービス利用と生活保護との関係に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

〔事例〕

Bさん（64歳、男性）は、病弱のため働くことができず、年金など他の収入も全くないため、5年前から生活保護を受けて暮らしており、医療扶助も受けてきた。1年ほど前から持病の関節リウマチが悪化し、一層心身機能が低下してきたため、福祉事務所の担当ケースワーカーと相談して要介護認定を受け、要介護1と認定されて、訪問介護サービスを利用している。Bさんの誕生日は来月で、もうすぐ65歳になる。

- 1 Bさんへの介護給付は、9割は介護保険で、1割は介護扶助で行われている。
- 2 Bさんが65歳から納付する介護保険料分は、その額が生活扶助費に加算される。
- 3 Bさんが患う関節リウマチは、生活保護法上の特定疾病である。
- 4 Bさんは、65歳以後、介護サービス費の1割を生活扶助費から負担しなければならない。
- 5 Bさんが要介護認定を受けたことに伴い、医療扶助は介護扶助に切り替わった。

問題 124 我が国の介護保険制度と医療保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 サービス供給主体に関しては、いずれの制度も「非営利」を原則としており、営利法人の参入については原則として禁止されている。
- 2 いずれの制度も、一連のサービスについて、支給限度額や法定給付を上回るサービスを患者や利用者の負担によって提供することは、原則として禁止されている。
- 3 介護保険制度の創設に伴い、医療保険におけるサービスの一部が介護保険に移行したため、平成12年度の国民医療費は前年度に比べ減少した。
- 4 訪問看護については、介護保険制度創設後も引き続き医療保険から給付されており、介護保険からは給付されていない。
- 5 介護保険制度創設後の急速な人口高齢化に伴う介護給付費の増大の結果、平成13年度以降、国民医療費は減少を続けている。

問題 125 我が国の介護保険制度における介護報酬に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 介護報酬の改定は、原則として3年に1回の頻度で実施されているが、これまでの改定はすべてマイナス改定であった。
- 2 介護報酬の改定について、改定内容の審議は提供側、支払側、公益側の三者構成の中央社会保険医療協議会において行われる。
- 3 介護保険施設に関する介護報酬については、定額の包括払い方式となっており、各種の加算は設定されていない。
- 4 介護報酬の額は、サービスの種類や要介護度等に応じた単位数に単価を乗じて算定されるが、この単価は全国一律に10円である。
- 5 市町村は、指定居宅サービス事業者から居宅介護サービス費の請求があったときは、所定の基準に照らして審査し、支払うものとされている。

問題 126 地域包括支援センターに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 地域包括支援センターが創設されたことにより、在宅介護支援センター（老人介護支援センター）が再編され、介護保険法上のセンターとされた。
- 2 包括的支援事業を実施することを目的とする特定非営利活動法人においては、市町村から包括的支援事業の委託を受けることができる。
- 3 地域包括支援センターが行う介護予防支援は、要支援認定には至らない虚弱な高齢者が要支援・介護状態等になることを予防するために必要な援助を行うものである。
- 4 地域包括支援センター運営協議会は、原則として当該市町村で設定される日常生活圏域ごとに一つ設置されることになっている。
- 5 地域包括支援センターの人員配置基準は、同センターの担当する区域における第1号被保険者数及び第2号被保険者数に応じて決められる。

問題 127 「平成 19 年度 高齢者虐待の防止，高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」（厚生労働省）に見る高齢者虐待の実態に関する次の記述のうち，正しいものを一つ選びなさい。

- 1 養介護施設従事者等による虐待において，虐待の種別として介護放棄が最も多く，以下，身体的虐待，心理的虐待，経済的虐待，性的虐待の順となっている。
- 2 養介護施設従事者等による虐待において，被虐待高齢者の人数（割合）は年齢が高くなるにしたがって多くなっている。
- 3 養護者による虐待において，近隣住民・知人から相談・通報されるケースは少なく，全体の 1 割にも満たない。
- 4 養護者による虐待において，虐待者の被虐待高齢者との続柄の中で，息子の配偶者が最も多く，以下，息子，夫，妻，娘などの順となっている。
- 5 養護者の虐待において，虐待への対応として虐待者と被虐待高齢者の分離を行った事例が全体で 5 割を超え，深刻な状況がうかがわれる。

問題 128 「バリアフリー新法」に関する次の記述のうち，正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「バリアフリー新法」は，国や地方公共団体の責務に加え，「国民の責務」を定め，法の対象となる高齢者等の自立した日常生活・社会生活を確保することの重要性の理解と，円滑な移動・施設利用への協力を努力義務とした。
- 2 「バリアフリー新法」は，高齢者や障害者が移動のために車いす等の用具を使用したまま乗車できる車両（福祉タクシー）を，「交通バリアフリー法」に引き続き対象としている。
- 3 「バリアフリー新法」は，「高齢者，障害者等」として障害を身体障害に限らない表現となったが，実質的には円滑な移動に障害のある身体障害者のみが対象とされている。
- 4 「バリアフリー新法」では，都道府県が策定する「移動等円滑化基本構想」の作成に当事者である住民が参加したり，提案したりすることができるようになり，住民参加が前進した。
- 5 「バリアフリー新法」は，市町村の責務として，教育活動や広報活動を通じて移動等円滑化の促進に関する住民の理解を深め，住民の協力を求めることを規定している。

(注) 1 「バリアフリー新法」とは，「高齢者，障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」のことである。

2 「交通バリアフリー法」とは，「高齢者，身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」のことである。

## 障害者に対する支援と障害者自立支援制度

問題 129 障害者を取り巻く社会情勢に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 身体障害者福祉法は、制定時には身体障害者の更生を目的とし、更生とは英語のリハビリテーションの訳で、医学的な回復を意味していた。
- 2 1982（昭和 57）年に開催された国連総会は、国際障害者年の趣旨をより具体的なものとするため、「障害者に関する世界行動計画」を採択した。
- 3 1995（平成 7）年に、政府は「障害者プラン」（ノーマライゼーション 7 か年戦略）を発表し、「入所施設は真に必要なものに限定し、地域資源として有効に活用する」とした。
- 4 支援費制度において、障害児の在宅サービス及び施設サービスが従来の措置制度から契約制度に移行した。
- 5 2006（平成 18）年の国連総会において「障害者の権利に関する条約」が採択され、日本政府はこの条約を批准した。

問題 130 障害者自立支援法における自立支援給付に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 行動援護は、身体障害により行動上著しい困難を有する障害者で常時介護を要する者に対して、行動する際に生じる危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護などを支援する。
- 2 共同生活介護は、常時介護を要する障害者として厚生労働省令に定める者に対して、主として夜間において、入浴、排泄又は食事の介護<sup>きつ</sup>などを提供する。
- 3 就労移行支援は、就労を希望する障害者に対して、利用期限を定めずに、生産活動等の機会を提供することによって、就労に必要な知識や能力の向上を図る訓練等を行う。
- 4 施設入所支援を利用する障害者が、指定相談支援事業者からサービス利用計画作成の支援を受けたときは、サービス利用計画作成費が支給される。
- 5 補装具費は、障害者又はその配偶者、障害児又はその保護者が一定の所得以上の場合には支給されない。

問題 131 障害者自立支援法における国及び地方公共団体の役割に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国の役割として、厚生労働大臣は、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制を整備し、自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本指針を定め、公表しなければならない。
- 2 市町村は、育成医療、更生医療、精神通院医療という3つの自立支援医療の支給認定の役割を担っている。
- 3 市町村は、身体障害者に関する相談及び指導のうち、専門的な知識及び技術を必要とする相談支援のために身体障害者更生相談所を設置しなければならない。
- 4 都道府県は、指定障害福祉サービス事業者が事業の設備及び運営に関する基準に従って適切な運営をしていないときは、その旨を厚生労働大臣に通知しなければならない。
- 5 都道府県は、市町村の相談支援をバックアップする観点から、指定相談支援事業者に障害程度区分の認定及び支給要否決定のための心身の状況、置かれている環境等を調査することを委託する役割を担う。

問題 132 現在、特別支援学校高等部3年に在学中の、軽度知的障害のあるC君が、卒業後の進路に迷っていた。学級担任と進路指導担当教員が中心となって進路相談の場を設け、本人及び保護者と話し合ったところ、事業所での実習を希望した。そこで、公共職業安定所（ハローワーク）及び地域障害者職業センターの協力を得て、2か所の事業所で実習を行った。実習が終了するとき、実習先の事業所から、一定の就労支援があれば採用を考えてもよい、という意向が示された。その結果、C君は、公共職業安定所（ハローワーク）や地域障害者職業センターの支援を受けて企業に就職することを強く希望するようになった。

次のうち、実習先の事業所が求める一定の就労支援として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援
- 2 就労継続支援事業による支援
- 3 自立訓練による支援
- 4 就労移行支援事業による支援
- 5 地域活動支援センターによる支援

問題 133 事例を読んで、D相談支援専門員が対応すべき最初の支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事 例〕

Y指定相談支援事業所に所属するD相談支援専門員は、母親Eさんから以下のような相談を受けた。Eさんは2歳6か月の男児のことで悩んでいた。男児には保育所に通っている4歳の姉がいる。現在、Eさんは、こだわりの強い行動が男児に見られ、他の子どもと遊ばないことや姉と比べて言葉の遅れがあることに不安を感じている。

- 1 子どもについては、言語療法に通うよう勧める。
- 2 Eさんの不安を和らげるために、カウンセリングを受けてもらう。
- 3 今の状態を把握するため、臨床心理士、言語聴覚士や医師などと連携し、アセスメントを行う。
- 4 このケースを、地域自立支援協議会発達支援部会で検討する。
- 5 3歳児健診までEさんに経過観察をしてもらう。

問題 134 発達障害者支援法に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 発達障害とは、環境との相互作用によって生じる障害であって、その症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものである。
- 2 市町村は、発達障害者の就労を支援するため必要な体制の整備に努めるとともに、公共職業安定所等の相互の連携を確保しつつ、発達障害者の特性に応じた適切な就労の機会を確保しなければならない。
- 3 市町村は、発達障害者への相談支援、就労支援、発達支援等を行う発達障害者支援センターを設置しなければならない。
- 4 市町村は、保育の実施に当たっては、発達障害児の健全な発達が他の児童と共に生活することを通じて図られるよう適切な配慮をするものとする。
- 5 発達支援とは、発達障害者に対し、その発達障害の特性に対応した心理的援助を行うことをいう。

問題 135 障害者基本法に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国及び地方公共団体の責務規定として、障害者の福祉を増進し、及び障害を予防することが定められている。
- 2 都道府県及び市町村は、それぞれ都道府県障害者計画又は市町村障害者計画を策定するよう努めることとされている。
- 3 国及び地方公共団体は、「障害者の日」の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。
- 4 自立への努力として、障害者は、その有する能力を活用することにより、進んで社会経済活動に参加するよう努めなければならない、と規定されている。
- 5 国及び地方公共団体は、障害のある児童及び生徒と障害のない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進めることによって、その相互理解を促進しなければならない。

## 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

問題 136 児童等の定義に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 児童福祉法にいう乳児とは、2歳未満の者を意味する。
- 2 母子及び寡婦福祉法にいう児童とは、20歳未満の者を意味する。
- 3 児童福祉法にいう幼児とは、3歳未満の者を意味する。
- 4 児童福祉法にいう少年とは、15歳以上18歳未満の者を意味する。
- 5 児童の権利に関する条約にいう児童とは、20歳未満の者を意味する。

問題 137 事例を読んで、保育所の対応に関する次の記述のうち、児童虐待の防止等に関する法律に照らし、最も適切なものを一つ選びなさい。

〔事例〕

F子はP市に住んでおり市内の保育所に通っている。保育士がF子のほほに叩かれたような痣<sup>あざ</sup>を発見した。1か月ほど前にも痣のようなものに気付いたことがあったので、虐待かもしれないと思い、所長に報告した。母子家庭ということであったが、最近、男性が送迎していることもある。母親は体が弱いということで就労していないが、生活状況についてはよく分からないことも多く、経済的には苦しいらしい。所内でF子への対応に関して協議が行われた。

- 1 F子に痣の原因を確かめてから、P市に通告することにした。
- 2 お迎え時に母親に痣の原因を確かめた上で、P市に通告することにした。
- 3 虐待であると確認できないため、所長の指示でP市に通告しないことにした。
- 4 安全確保のため帰宅させず、保育所で預かることにした。
- 5 速やかにP市に通告することにした。

問題 138 母子保健法の規定に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 市町村は、妊娠の届出をした者に対して母子健康手帳を交付しなければならない。
- 2 市町村は、母子健康センターを設置しなければならない。
- 3 新生児の訪問指導を行う者は、保健師の資格を有していなければならない。
- 4 市町村は、満1歳を超え満1歳6か月に達しない幼児に健康診査を行わなければならない。
- 5 妊産婦とは、妊娠中又は出産後1か月以内の女子をいう。



問題 139 子どもに関して給付される手当やサービスに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 特別児童扶養手当は、障害児の父若しくは母がその障害児を監護するとき、その父若しくは母に対して支給される。
- 2 自立支援医療とは、未熟児に対しその養育に必要な医療の給付を行い、又はこれに代えて自立支援医療に要する費用を支給することである。
- 3 児童手当は、父と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するために当該児童に対して支給される。
- 4 児童扶養手当は、子どもが児童福祉施設に入所している家庭に対して児童扶養手当を支給することにより、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的とする。
- 5 養育医療とは、障害児等につきその心身の障害の状態の軽減を図り、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な医療のことである。

問題 140 婦人保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 婦人保護施設は、母子及び寡婦福祉法に基づく施設である。
- 2 売春防止法によれば、婦人相談員は常勤でなければならない。
- 3 市町村は、婦人相談所を設置しなければならない。
- 4 婦人相談所には、要保護女子を一時保護する施設を設けなければならない。
- 5 都道府県は、要保護女子を収容保護するための施設を設置しなければならない。

問題 141 Gちゃん（6歳）は父親と二人で暮らしていたが、父親が行方不明となり、里親に措置された。当初Gちゃんはおとなしく里親にとって育てやすい子どもであったが、2～3か月を経過した頃から抱っこや添い寝を常に要求するようになった。里親がそうした要求に応じるよう努めた結果、半年後ぐらいからGちゃんの状況は安定するようになってきた。

次の記述のうち、Gちゃんが抱っこや添い寝を要求したことの解釈として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 Gちゃんには、アスペルガー症候群に基づく行動が起こっていたと考えられる。
- 2 Gちゃんには、注意欠陥多動性障害（ADHD）に基づく行動が起こっていたと考えられる。
- 3 Gちゃんには、退行が起こっていたと考えられる。
- 4 Gちゃんには、解離性障害が起こっていたと考えられる。
- 5 Gちゃんには、フラッシュバックが起こっていたと考えられる。

問題 142 児童相談所の業務内容に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 児童福祉法に基づき、必要があると認めるときは児童の一時保護を行うこと。
- 2 児童福祉法に基づき、保育所への入所決定を行うこと。
- 3 児童福祉法に基づき、母子生活支援施設への入所決定を行うこと。
- 4 障害者自立支援法に基づき、児童デイサービスの給付決定を行うこと。
- 5 児童福祉法に基づき、児童委員を指揮監督し、業務の遂行に対して必要な指示を行うこと。

## 就労支援サービス

問題 143 就労支援を行う機関に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 職業安定法で、公共職業安定所は、要保護者、低所得者を除く一般就労が可能な求職者を対象に業務を行うと規定されている。
- 2 社会福祉法で、社会福祉協議会は、生活福祉資金貸付制度の対象である低所得者について職業あっせんを行うと規定されている。
- 3 児童福祉法で、母子生活支援施設は、母子世帯を対象に職業あっせんを行うと規定されている。
- 4 「障害者雇用促進法」で、地域障害者職業センターは、身体障害者、知的障害者、精神障害者等を対象として業務を行うこととされている。
- 5 身体障害者福祉法で、身体障害者更生相談所は、業務範囲として、就労あっせんを行うと規定されている。

(注) 「障害者雇用促進法」とは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」のことである。

問題 144 Hさん(45歳、男性)は、工業系大学を卒業後、Z社の工場部門でエンジニアとして勤務してきたが、一昨年製造第一課長に就任後間もなく、脳卒中で倒れ、右半身麻痺(2種4級)となった。リハビリテーションにより日常生活はほぼ自力でできるようになったが、言語障害がかなりあることや移動能力に相当程度の制約があることに加え、軽度の認知症状が見られたことなどから、退職せざるを得なくなった。Hさん自身は再就職を強く望んでいる。

次のうち、Hさんが再就職するに当たって利用する就労支援サービスとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 就労継続支援事業
- 2 職業準備支援
- 3 就労移行支援事業
- 4 障害者就業・生活支援センター事業
- 5 公共職業訓練

問題 145 障害者雇用率制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「障害者雇用促進法」においては、身体障害者、知的障害者だけでなく、精神障害者、発達障害者についても障害者雇用率制度の対象とされている。
- 2 平成 19 年と平成 20 年を比較すると、常用労働者数 1,000 人以上の企業における障害者の実雇用率が大きく伸びているのに対して、100 人未満規模の企業におけるそれは逆に低下している。
- 3 平成 20 年において、法定雇用率未達成の企業が占める割合は、常用労働者数 300 人未満規模の企業の方が、300 人以上規模のものよりも高くなっている。
- 4 事業主が精神障害者保健福祉手帳を所持する短時間労働者を雇用しても、実雇用率に算定することはできない。
- 5 就労継続支援 A 型事業の利用者は、雇用契約の有無にかかわらず、障害者雇用率制度の対象ではない。

問題 146 障害者自立支援法に基づく、就労移行支援事業及び就労継続支援事業に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 就労移行支援事業及び就労継続支援事業は、旧制度に基づき障害別に設置されていた福祉工場や授産施設などを、障害種別にかかわらず、目的別に再編成することを意図して制度化されたものである。
- 2 就労移行支援事業は、就職に向けての訓練を中心とした事業であることから、利用申込みの窓口は、公共職業安定所になっている。
- 3 就労継続支援 A 型事業、B 型事業とも、利用者は原則として最低賃金法など労働法の適用を受ける。
- 4 就労継続支援事業についても、利用者の一般就職が最終目標とされることから、利用期間には期限が設けられている。
- 5 就労継続支援 A 型事業で雇用されている利用者は、職場適応援助者によるジョブコーチ支援を受けなければならない。

## 更生保護制度

問題 147 保護観察の目的に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 犯罪をした者及び非行のある少年に対し、本人の申出に基づき、社会内で適切な処遇を行うことにより、再犯を防ぎ、又はその非行をなくし、これらの者の自立と改善更生を助ける。
- 2 犯罪をした者及び非行のある少年に対し、矯正施設内で適切な処遇を行うことにより、再犯を防ぎ、又はその非行をなくし、これらの者の自立と改善更生を助ける。
- 3 犯罪をした者及び非行のある少年に対し、社会内で適切な処遇を行うことにより、再犯を防ぎ、又はその非行をなくし、これらの者の自立と改善更生を助ける。
- 4 犯罪及び非行を行うおそれのある者に対し、予防的に社会内で適切な処遇を行うことにより、これらの者の自立と改善更生を助ける。
- 5 犯罪をした者及び非行のある少年に対し、社会内で適切な処遇を行うことにより、これらの者が生業に就く機会を保障し、社会的に自立し改善更生することを助ける。

問題 148 事例を読んで、この場合の法律関係に関する次の記述のうち、仮釈放の手續として、正しいものを一つ選びなさい。

〔事例〕

裁判所によって3年の懲役刑の言渡しを受けた受刑者が、まじめに刑務所生活を送り、改悛の状があると評価され、2年を経過したところで、仮釈放の手續がとられることになった。

- 1 仮釈放は、検察官が許可した場合に許される。
- 2 仮釈放は、地方更生保護委員会の決定があれば許される。
- 3 仮釈放は、裁判員の合意があれば許される。
- 4 仮釈放は、裁判所の判断があれば許される。
- 5 仮釈放は、矯正施設の長が認めれば許される。

問題 149 更生緊急保護に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 更生緊急保護は、保護観察所長が自ら行い、又は更生保護法人やその他の適当な者に委託して行う。
- 2 更生緊急保護は、その対象となる者が刑事上の手続き又は保護処分による身体の拘束を解かれた後2年を超えない範囲内において行うものとされている。
- 3 少年院から退院した者、又は仮退院を許され保護観察に付されている者は、更生緊急保護の対象となる。
- 4 更生緊急保護は、対象となる要件を備えた者についてその再犯を予防するために必要があると検察官が認めたときに限り、行うものとされている。
- 5 更生緊急保護の対象となる者が、専門学校進学のための十分な資金を持たない場合、更生緊急保護で給与することができる。

問題 150 「医療観察法」の医療観察制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 精神保健観察は、刑法上のすべての犯罪行為に対して適用される制度である。
- 2 医療観察は、厚生労働省で定める基準に適合する私立病院において医療を行う制度である。
- 3 精神保健観察は、必要な医療を受けているか否か及びその生活の状況を見守る制度である。
- 4 医療観察は、精神保健審判員の判断によって、退院を許可することができる制度である。
- 5 医療観察は、指定入院医療機関の管理者が、入院の申立てをする制度である。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。